

日 時 平成21年6月14日午前11時26分キックオフ（快晴）

会 場 シーガイア イベントスクウェア

相 手 カントリーボーイズ

結 果 2-1（1-0、1-1）

得点者 緒方2（アシスト：児玉(大)2）

内 容 （得点できなかったけど）黒田主将、初勝利！

リーグ戦第2節。前回の初戦は楽勝ムードから一転、おもしろいようにディフェンス陣総崩れで逆転負け、、。ここは、早めに白星が欲しいところ。

今節の相手はカントリーボーイズ。去年は、2-0と数字の上では快勝するも、ディフェンスラインの裏を徹底して狙われ、谷之木大明神のゴッドハンド連発でなんとか勝利。結局、カントリーは昨年リーグ2位、カップ戦3位。フェニックスより格上であった。

というわけで、今節も谷之木大明神頼みで、、、と思いきや、別の試合があり試合途中から合流予定とのこと。でわ、成長著しいスーパーサブGK久保に期待、、、と思いきや、諸事情により不在、、。やむを得ず、負傷中で走れないマッちょ越智の長身と筋肉で大明神が来るまでごまかす作戦となった。

というわけで試合開始。カントリーは、無理せずパスを回してサイドからの攻撃が中心。フェニックスもいつも通り守備的に構え、決定的チャンスは作らせない。フェニックスにしては無難な立ち上がりであった。

12分、左サイドから切り込んだ藤田がゴール前に絶妙のセンタリング。黒田がヘッドで合わせるもおしくもゴールを割れず。15分、右サイドから中園が得意のアーリーセンタリング。藤田が飛び込むも相手DFに阻まれる。マッちょ越智も、日高コーチのゴール背後からの天の声に従い無難にGKをこなす。カントリーもシュートミスなどで、枠内へのシュートを放てず、、。

と、前半20分、予想より早く大明神が合流。意外にも無失点で危険な時間を切り抜ける結果となった。

その直後の22分、右からの児玉（大）センタリングに走り込んだ緒方が相手DF2人をおかわして左隅にゴール！1-0。待望の先制点となった。

24分、センター付近の緒方から右サイドの黒田にパスが通り、中央へ絶妙のセンタリング。中央に走り込んだ藤田がフリーでダイレクトシュートするも相手GKに阻まれた。

後半開始。直後の5分、右サイドを切り込んだ児玉から中央の緒方にパスがとおり、絶妙のワンタッチと振り向きざまのシュートに相手GK全く動けず2点目をゲット！早くも今季のベストゴール候補となるビューティフルゴールであった。

しかし、2点リードで一安心した6分、GKとDFの間にスルーパスを通され、フェニックス守備陣、お地蔵さんのように微動だにできず失点。これで2-1。得意のスリリングな展開に持ち込むことに成功した！

これで勢いづいたカントリーが猛攻を仕掛けるも、逆に手薄になった相手守備陣に対し16分、左から黒田が切れ込み中央の藤田に絶妙のパス。しかし、慎重にいきすぎて相手GKに阻まれる。

その後は足が止まり防戦一方、ヒヤリとする場面もあったが、ディフェンス陣がなんとか踏ん張りこのままタイムアップ！去年に続き、格上カントリーに勝利した。

攻撃はいつもの通りで○。ただ、絶好機を外した藤田の不調が気になるところ、。ディフェンスは、集中力は○。スピードで振り切れられそうになってもあきらめず、勝利への執念が感じられました。それと、カバーリング。体力的に苦しくなった後半も、第2ディフェンダーやハーフがカバーし、組織的な守備ができていました。一方、失点シーンは、いつもの2列目からの飛び出しに対するオフサイド崩れで、今後の大きな課題です。

前節の失敗を少しは生かしたことが、今回の勝利の要因と思われます。ディフェンスラインでの逆サイドへの展開は皆無でしたが、なんとか集中力で乗り切れました。カントリーのボール回しを参考に、今後の練習に生かしましょう。

参加者

<先発>

FW（藤田、黒田）

MF（緒方、渡部(大分産直輸入)、赤野、児玉(大)）

DF（工藤、三井、久保野、中園）

GK（マッチョ）

<交代>

前半20分 GK：マッチョ→谷之木

後半20分 DF：久保野→野田

監督等 日高、高妻

応援 黒木、石田